

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/5 )

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科		職名	准教授	氏名	カクヤマ アキヒサ 片山 明久
学歴	昭和58年 3月 京都府立大学文学部文学科文化史学専攻 卒業 平成23年 3月 同志社大学大学院総合政策科学研究科公共政策コース博士課程前期課程 修了 平成26年 3月 同志社大学大学院総合政策科学研究科公共政策コース博士課程後期課程 修了					
学位	平成23年 3月 政策科学修士 (同志社大学 第934号) 平成26年 3月 政策科学博士(同志社大学 甲第650号)					
専門分野	観光学、コンテンツツーリズム研究、文化政策					
専門資格	総合旅行業務取扱管理者 (06-5569)					
所属学会	平成19年 4月 日本観光研究学会 平成22年 4月 日本都市計画学会 平成24年 4月 観光学術学会 平成24年10月 日本文化政策学会 コンテンツ文化史学会					
受賞						
担当授業科目	学部 (総合社会学部) 観光学概論、観光政策論、観光ビジネス論、初年次演習【総社クラス】、文化人類学演習 ・、総合社会学演習、総合社会学実習B					
論文指導	該当なし					
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	観光政策論	科目カテゴリー	講義・演習・実習・実験	実施学期	春・秋
						履修者数 約 30 名
		授業の概要： まず戦後日本の観光と観光政策の歴史をたどり、観光政策の基礎的な知識を得ると共にそれらが発生した理由を理解する。次にその地域ならではの資源を活用した様々な観光政策の事例を参考に、それらが持つ課題について考える。				
		教育活動の振り返り 教育活動の成果： 観光政策に対する基礎知識の習得は、レポートで確認する限りほぼ達成できた。 今日の観光政策、観光まちづくりに対する問題意識も高まった。 今後の課題： 今日の観光政策の課題を発見する力がまだ身につけていない。これは自分で調査し、考察し、設問 (= 課題) 設定に導く能力のことであり、これを発表やワークショップを通じて向上させることがこの授業の課題である。				
		・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 平成27年 2月10日 2014年度産学連携ツーリズムセミナー in関西 (於：メルパルク京都) に参加。 平成27年 2月18日 2014年度京都府南部地域まちづくりミーティング ~ともいき (共生) のまちづくり~ に参加し、基調講演「『地域が学生を育て、学生が地域を元気にする』地域連携活動の試み~名古屋学院大学の事例~」(名古屋学院大学・経済学部・教授 水野晶夫氏) を聴講。(於：京都文教大学) 平成27年 2月19日 学内 COC事業研修会「『ひろみらプロジェクト』の学び ~活動紹介と今後の展望について~」(広島修道大学・副学長 山川肖美氏) に参加。 平成27年 2月26日 学内 IRに関する研修「IRの概要と事例 ~中小規模大学が取り組むIRのあり方~」(独立行政法人大学評価・学位授与機構・研究開発部・准教授 森利枝氏) を聴講。				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/5)

<p>F D 活 動 ・ 教 育 実 績</p>	<p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 資格取得に伴う個別指導：7 - 8月、国内旅行業務取扱管理者試験の指導：2名 学外における学生との調査</p> <p>平成26年 5月 1. 京都市伏見区 伏見稲荷大社（文化人類学演習 ） 2. 滋賀県犬上郡豊郷町 豊郷小学校旧校舎群（総合社会学演習 ）</p> <p>平成26年 7月 1. 京都市左京区 下鴨神社（文化人類学演習 ） 2. 京都市上京区 出町榊形商店街（文化人類学演習 ）</p> <p>平成26年10月 滋賀県大津市 近江神宮（文化人類学演習 ）</p> <p>平成26年11月 1. 岐阜県高山市 街並み、飛騨一宮神社（総合社会学実習B） 2. 富山県南砺市 城端、井波、五箇山（総合社会学実習B） 3. 石川県金沢市 湯涌温泉（総合社会学実習B）</p> <p>平成26年12月 奈良県奈良市 奈良まちづくりセンター、奈良町（観光政策論）</p> <p>学生との学会参加</p> <p>平成26年 7月 観光学術学会第3回大会 於：京都文教大学 ・学生ポスター発表「アニメ聖地におけるファンと地域の関係の変化を考える アニメ「けいおん！」の聖地：滋賀県犬上郡豊郷町を事例に」((総合社会学演習 ))</p> <p>学生との課外活動・会議大会参加</p> <p>平成26年 9月 第15回全国まちづくりカレッジ2014in愛知 於：星城大学（しあわせ工房CanVas（京都文教大学 商店街活性化隊））</p> <p>平成26年12月 京都文教大学ともいきフェスタ（しあわせ工房CanVas）</p> <p>平成27年 2月 前述京都府南部地域まちづくりミーティング（しあわせ工房CanVas） 第16回全国まちづくりカレッジ2015in香川 於：香川大学（しあわせ工房CanVas）</p> <p>課外活動プロジェクト 学生プロジェクト 商店街活性化隊しあわせ工房CanVas アドバイザー教員</p>
<p>H26 年度 研究課題</p>	<p>1. コンテンツに動機づけられた観光行動の展開 2. 旅行者が地域文化に与える影響に関する研究 3. 今日の文化施策の諸問題に対する観光社会学的研究</p>
<p>年度 の研究 活動の 概要 平成 二十六 (2014)</p>	<p>2014年度は、コンテンツに動機づけられた旅行者が地域の文化政策にどのような役割を果たすのかというテーマについて、過去に検討した事例以外の地域に対する調査を中心に研究を行った。その成果を、12月の日本文化政策学会において発表した。後述：(学会報告、学会活動) また本年度の初めに、神社とコンテンツに関係する分担執筆の機会を得たことをきっかけに、新たにコンテンツツーリズムと日本人の旅のメンタリティ（その結節点としての神社）との関係について注目するようになった。研究の途中成果としては、8月にコンテンツツーリズム論叢に招待論文を投稿した。後述：(論文)</p>
<p>平成 二十六 (2014) 年度 の 主な 研究 成果 等</p>	<p>(著書) 1. 「第26章 秩父神社×あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」、共著（当該章担当）、平成26年4月、エクスナレッジ、『マンガ・アニメで人気の「聖地」をめぐる神社巡礼』（pp.132-137）</p> <p>(論文) 1. 「コンテンツツーリズムと日本人の旅に関わるメンタリティ アニメ聖地における祭礼を事例に」、単著、平成26年8月、コンテンツツーリズム研究会 コンテンツツーリズム論叢 第5号（pp.20-26）</p> <p>(学会報告、学会活動) 1. 「旅行者が関与する地域の文化政策の可能性」、単独、平成26年12月、日本文化政策学会第8回年次研究大会、京都橘大学</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/5)

平成二十六(2014)年度の主な研究成果等	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>1. 総感：北近畿コンテンツポート展示『関西：変わりゆく聖地の記憶／シンボル』、平成26年10月、アニ玉祭、大宮ソニックシティ</p> <p>2. 第1分科会「各地のアニメ聖地の取り組み紹介」コーディネーター、平成26年11月、全国アニメ聖地サミットin豊郷、豊郷小学校旧校舎群(滋賀県)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成26年 4月 富山市コンテンツ関係調査、於：富山県立文学館「高志の国文学館」</p> <p>平成26年 8月 コミックマーケット86調査、於：東京ビッグサイト</p> <p>平成26年 9月 鴨川、大洗コンテンツ関係調査、於：鴨川市郷土資料館、大洗町商店街</p> <p>平成27年 2月 1. 大阪市内商店街関係調査、於：中崎町、文の里商店街等 共同研究2 2. 高松市商店街関係調査、於：丸亀町商店街等 共同研究2 3. 歴史観光関係調査、於：長野市保科地区、小布施町 共同研究1</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成25年度-平成28年度</p> <p>科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金(基盤研究C・一般)「観光まちづくりと地域振興に寄与する人材育成のための観光学理論の構築」(課題番号25501025, 京都文教大学・総合社会学部・教授 橋本和也) 研究分担者</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>地域連携委員会委員、地域協働研究教育センター委員、高大連携委員会委員</p> <p>地域協働研究教育センター共同研究1「宇治・伏見地域の観光資源開発と地域振興」研究分担者</p> <p>地域協働研究教育センター共同研究2「宇治3商店街の抱える課題の明確化と活性化に向けた方針の検討」研究分担者</p>
平成二十六(2014)年度の社会における活動	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人上京都 副理事長「平24.10より」</li> </ul> <p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成27年 1月 京都文教中学校模擬授業、「アニメでまちが元気になる？」、於：本学</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成26年10月 1. 平成26年度伏見連続講座、対象：高校生以上、「観光とまちづくりの今を知る アニメ聖地で観光客と創るまちおこし」、於：京都文教大学 2. 平成26年度伏見連続講座、対象：高校生以上、「観光とまちづくりの今を知る アニメ聖地巡礼に行こう！」、於：伏見稻荷大社周辺</p>
	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平安女学院大学国際観光学部 非常勤講師(「観光政策論」「総合旅行業務2」)「平22.4より」</li> <li>・ 奈良県立大学地域創造学部 非常勤講師(「観光まちづくり論」)「平26.4より」</li> <li>・ 龍谷大学国際文化学部 非常勤講師「観光産業論」(チェーンレクチャー)「平23.10より」</li> </ul>
平成二十一(2009)～二十五(2013)年度の主な研究成果等	<p>(著書)</p> <p>1. 第7章「遷都周年事業を巡る平城・平安比較論」、共著(当該章担当)、平成23年8月、古今書院、観光文化と地元学(pp.109-126)</p> <p>2. 第9章「歴史と暮らしの地元学～奈良町“生活観光”論」、共著(当該章担当)、平成23年8月、古今書院、観光文化と地元学(pp.142-159)</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/5)

(論文)

1. 「奈良町における「生活観光」の形成」、単著、平成21年11月、第24回日本観光研究学会全国大会学術論文集 (pp.133-136)
2. 「もうひとつの平城遷都1300年記念事業 「弥勒プロジェクト」とその意義について」、単著、平成22年12月、第25回日本観光研究学会全国大会学術論文集 (pp.313-316)
3. 「環境としての歴史」、単著、平成23年1月、地域創造(奈良まちづくりセンターまちづくり論文集)第49巻 (pp.1-4)
4. 「歴史的観光地におけるダイナミズムの協奏 岡山県倉敷市を事例に」、単著、平成24年3月、成美大学紀要第2巻第1号 (pp.1-14)
5. 「アニメ聖地における巡礼者と地域の関係性に関する研究 富山県南砺市城端を事例として」、単著、平成25年9月、観光学術学会 観光学評論第1巻第2号 (pp.203-226)
6. 「情報社会の旅行者が文化政策に果たす役割の研究」、単著、平成26年3月、日本文化政策学会文化政策研究第7号 (pp.6-23)

(学会報告、学会活動)

1. 「奈良町における「生活観光」の形成」、単独、平成21年11月、日本観光研究学会第24回全国大会、立教大学(埼玉県)
2. 「もうひとつの平城遷都1300年記念事業 「弥勒プロジェクト」とその意義について」、単独、平成22年12月、日本観光研究学会第25回全国大会、文教大学(神奈川県)
3. 「アニメ聖地における地域文化への共感の形成」、単独、平成25年7月、観光学術学会第2回大会、奈良県立大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

シンポジウムなど:

1. コーディネーター: パネルディスカッション「大丹波の観光素材」、平成24年1月、京都府・NPO 法人北近畿みらい・成美大学共催「広域連携で拓くツーリズムの未来 ~大丹波観光シンポジウム~」
2. パネリスト: パネルディスカッション「成熟社会における新しい価値観を持つ若者が“田舎”で活躍するために」、平成24年10月、成美大学シンポジウム「田舎は最高のテーマパーク」
3. コメンテーター: 「第1回コンテンツツーリズム研究会」、平成24年11月、鷺宮商工会館
4. パネリスト: 「田舎力甲子園シンポジウム」、平成25年7月、成美大学

学術講演:

1. 「地域文化における旅行者の役割」、平成26年3月、阿波学事始め公開講演会、四国大学

エッセイ:

1. 「歴史の町におけるゆるやかな文化の協創」、単独、平成25年1月、Web観光政策フォーラム

報告書:

1. 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」の「地域の文化や風土に根差したコンテンツを活用した観光振興のための地域協働プログラム」報告書、共著、平成25年3月、24p

(調査活動)

平成24年度 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」の「地域の文化や風土に根差したコンテンツを活用した観光振興のための地域協働プログラム」についての調査、於: 富山県南砺市城端、埼玉県秩父市

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

(学内活動)

平成二十一〜二十五(2009〜2013)年度の主な研究成果等

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/5)

平成二十一  
～二十五  
(2009～2013)  
年度の  
社会にお  
ける活  
動

(NPO法人等の団体への参画)

平成24年10月 NPO法人上京都 副理事長「現在に至る」

(小中高との連携授業の講師)

平成24年度(成美大学所属) 「アニメがまちを元気にした!」「観光って何?」

福知山成美高等学校(3学年、2学年)

京都府立綾部高等学校(1学年)

福井県立奥越明成高等学校(2学年)

KTC中央学院(1～3学年)

など計10回実施

平成25年度(成美大学所属)

6月 学びフォーラム2013「コンテンツと共に行う次世代まちおこし」

7月 綾部高等学校「アニメがまちを元気にした! - アニメによるまちおこしに  
学ぶ、「地元学」の基本構造」

(自治体や企業における研修等の講師)

平成24年 3月 福知山市「～大学のあるまちづくり市民公開講座～ 2011年度成美市民大学」  
第5回『町並み保存からアニメツーリズムまで』 全国の観光まちづくりから、  
福知山を考える、於:成美大学

平成25年6月-8月 福知山市「～大学のあるまちづくり市民公開講座～ 2013年度成美市民大学」  
第1～3回「アニメと観光の楽しみ方」、於:成美大学、滋賀県豊郷町立豊郷小学校  
(第3回のみ)

平成25年 8月 福知山ロータリークラブ例会第2981回「アニメによる地域振興 - 「敬愛」が  
つなぐまちを元気にする構図とは」、於:サンプラザ万助

平成25年11月 京丹後市公民館連絡協議会第2回研修会「コンテンツと共におこす観光振興の可  
能性」、於:京丹後市公民館

平成26年 1月 舞鶴おもてなし人づくり講座「コンテンツツーリズムと舞鶴」、於:舞鶴赤レン  
ガパーク

(その他)

平成22年 4月 平安女学院大学国際観光学部 非常勤講師(「観光政策論」「総合旅行業務」など)  
「現在に至る」

平成23年 5月 成美大学経営情報学部 准教授(「観光政策論」「旅行業務」「観光地計画論」な  
ど)「平26.3まで」

平成23年10月 龍谷大学国際文化学部 非常勤講師 「観光産業論」(チェーンレクチャー)「現在に  
至る」

平成24年 4月 一般財団法人地域公共人材開発機構 コーディネーター「平26.3まで」

平成24年度(成美大学所属) オープンキャンパス模擬授業、於:成美大学